



能登震災支援につかわされて

京都インターナショナルチャーチ 教員
つくばキリスト福音教会 牧会者・医師

高橋 裕子

「わたしはあなたがたを捨てて孤児にはしません。あなたがたのところに戻ってきます。」(ヨハネ 14:18)

2024年1月1日能登震災が勃発しました。私は、2024年2月から5月まで、そして10月11月にも能登支援ボランティアに用いていただきました。医療チームの一員として、能登半島先端部の能登町にベースキャンプを置くICA/JOCA災害支援につかわされたのですが、神さまが私に見せてくださった奥能登の状況と、その中での教会やクリスチャンの様子を記させていただきます。

2月、雪の降る中を奥能登の地に車で向かいました。道路は、いたるところ亀裂や段差やがけ崩れなどで寸断され、金沢東インターから奥能登のベースキャンプまでの130kmを11時間近くかかったことを覚えています。民家の多くは被災し、崩壊していました。道の高さに屋根がある光景は、ごくありふれたもので、そこに居住していた人がどうなったのかと胸が痛みました。

避難所は、当初はひとつの体育館に3000人といった状況であったと聞きますが、壊れた自宅に戻る人や、金沢などに出る人で人数が少しずつ減り、2月には目隠しの段ボールの仕切り板などもたてられる状況になっていました。しかしその毎日はたいへんなものでした。段ボール仕切りは高さ1m程度、一家にひと区画で、プライバシーはありません。物音はすべて聞こえます。防犯のために夜間も電気を消すことができず、今までの環境との差異は大きなストレスであったと思います。

電気は震災から1週間程度、インターネット環境もほぼ同時に復旧したことは神さまのおおきなあわれみでした。しかし水道が奥能登で復旧したのは半年後でした。トイレの問題は深刻でした。戸外の仮設トイレには、電気などの設備がないところも多く、段差もあり転倒する人が続出しました。トイレに行き控えるための飲水拒否なども高齢者の健康状態に深刻な課題となりました。2月には自衛隊風呂が設置されましたが、長時間の順番待ちとなるのが常で、3か月入浴していないという住民もおられました。

幸いなことに、その後、少しずつではありますが、能登の復興はすすんでいっています。崩落した道路の多くは応急措置で通行できるようになり、避難民のみなさま

は仮設住宅に移りました。しかし、能登の人たちの笑顔が消えたと言われます。先の見えない不安から、希望を失い笑顔が消えてしまうのです。

私がつかわされた奥能登には、津波被害にあった地域も含まれていました。もうすぐ90歳という女性は、目の前で姉と娘さんがつぎつぎと津波に飲み込まれたことをぼつりぼつりと語って涙されました。私も手をとっていっしょに泣くことしかできませんでした。その女性に私は「何をしてほしいですか」と尋ねました。彼女は、「私たちを忘れないでください」と言われました。忘れないことと祈ることを神さまが求めておられると知らされました。

能登に入れる人は限られています。しかし現地にゆくことだけが支援ではないと知らされたのです。忘れないことと祈り続けること。これも大事な支援です。能登の現実はまだまだ苦しいですが、少しずつでも復興してきているのは、みなさまの復興への思いと積まれた祈りあつてのことです。どうかこれからも能登を忘れずに祈り続けてください。

神さまは、七尾以北の奥能登の地に、7つのキリスト教会を置かれました。その中のいくつかを訪問させていただきました。先の見えない状況はみな同じですが、クリスチャンのみなさまは明るい希望に生きておられました。

「このような時だからこそ私たちは福音を伝えるのです」「時が良くても悪くても、私たちは伝えます」「闇の中を歩む民は、大いなる光を見 死の陰の地に住む者の上に光が輝くのです。」

私たちには、どのような災害にあっても、必ず益とするの希望が与えられています。七尾の教会では、二度にわたり福音伝道の学び会を開催させていただきました。主が能登の地に、生きてお働きくださっています。

イエスさまは、「わたしはあなたがたを捨てて孤児にはしません。あなたがたのところに戻ってきます。」(ヨハネ 14:18)と約束くださいました。目の前の状況がどれほど困難であっても、神さまがともにおられ、ともに歩んでくださっている。この希望が与えられていることを感謝します。みことばを握りしめて、これからも主のご栄光のためにあゆませてくださいと祈ります。



■札幌スクーリング
1/18 (土) 13:00 ~ 15:00
<札幌> ホープ札幌教会 (札幌市西区山の手4条1丁目1-28)
「信仰とビジョン~イエス様と共に歩む~」
講師：進藤 龍也 (罪人の友 主イエス・キリスト教会牧師)

■「説教演習」Zoomスクーリング
2/22 (土) 9:00 ~ 12:00
「説教演習」
講師：岸 義紘
説教演習時間は一人20分以内です。
学校に来ての対面での演習でも結構です。

*参加費：各スクーリング1,000円。

■公開講座
1/6 (月)、1/20 (月) 19:00 ~ 21:00
「伝道学」
講師：久保田 文吾 (キングダム・シーカーズ牧師)
会場：JTJ教室

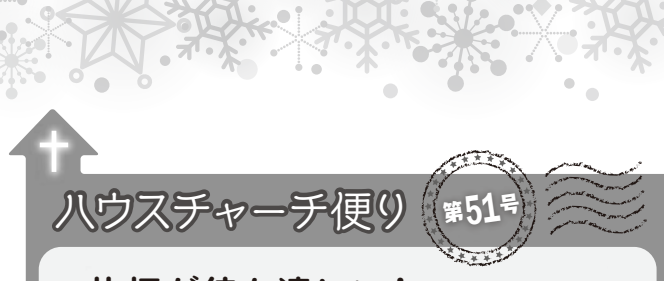
*参加無料。
*JTJ学生の方の参加申込は不要です。

◎スクーリング・公開講座とも参加申込は、学校ホームページから、お電話で。



●JTJニュースレターはメールマガジンに移行します
JTJニュースレターは、来年6月号(夏号)をもって紙媒体での発行を終了し、メールマガジン(メールでの送付)に移行する予定です。メールマガジンの受け取り方法については、次回3月号(春号)にてご案内いたします。

お問合せ・各申込先
JTJ宣教神学校
TEL.03-3842-3412
E-mail:jtj@jesustojapan.com



礼拝が待ち遠しい!
横浜ハウスチャーチ メンバー
小泉 美保

「詩と賛美と霊の歌とをもって、互いに語り、主に向かって、心から歌い、また賛美しなさい。」
(エペソ 5:19)

コロナ後から近所で行われる横浜ハウスチャーチの礼拝に月2回、その他の週は中3の娘が洗礼に導かれた山口県の防府聖書教会のオンライン礼拝や、夫が通う教会に時々参加しています。

毎週一つの教会へ家族一緒に、が正しきクリスチャン像だった私からは道を外れるよう考えられないことでした。

しかし今、みことばの宝探しのようなハウスチャーチの礼拝が待ち遠しく、オンラインから聞こえてくる主の眼差しが温かくて、力を得ています。小さな集まりだからこそ、毎週のメンバーの方からの証を通して主の愛を実感し、地域に世界に主のみわざが成されるようにと祈れることが嬉しいです。



★JTJ宣教神学校ホームページ
https://jesustojapan.com
スクーリング、公開講座等のお申し込みはこちらからできます。学生・卒業生用ページを設けています。

★LINE公式アカウント
公開講座、Zoomセミナーなどの案内をお伝えしていきます。どなたでも登録できます。

★LINE公式アカウント(学生専用)
講義日程の変更やスクーリングなどの案内をお伝えしていきます。

★JTJ YouTubeチャンネル

★Instagram
「聖書・キリスト教のここが聞きたい!」

★学校公認TikTok
「ひとつぶのむぎ」

★JTJ YouTubeの姉妹チャンネル
「ひとつぶのむぎ」



上書きされるクリスチャンライフ 学長 重田 稔仁

クリスチャンライフの祝福は、“神さまの知識が上書きされることによって変革されることだ!”とカナダの神学校で教えられました。

あなたがたも互いに愛し合いなさい。
(ヨハネによる福音書 13:34)

台湾靈糧堂の名誉牧師、周ナタナエル師との出会いは、私にとってそんな神さまの祝福が近年、最もハイライトされた出来事でした。2023年4月22日に開催された沖縄の白い家フェローシップチャーチで開催された「お父さんの家献堂式」に参加するため、沖縄を訪れた私は、周先生と一緒にの宿舎で2泊3日寝食を共にしました。その宿舎で持たれた周先生との親密な交わりを通じて、「聖霊さまは、私たち主にある兄弟姉妹の、平和な交わりのうちに住んでくださるからクリスチャンが兄弟と仲違いしているなら、互いに悔い改め、赦し合い、愛し合うように努めなければならない!」とのイエスさまのお言葉が私の胸に迫ってきたのです。

私は、父、子、御霊なる三位一体の神さまが、愛の交わりのうちにおられるということを知的に知っていました。しかし聖霊さまが、私たちクリスチャンの愛の交わりを何にも増して愛しておられるということを40年に及ぶクリスチャンライフで初めて心で知りました。周先生との交わりを通じて聖霊さまを人格的に知らされた体験は、神さまとの関係や主にある兄弟姉妹との関係を見つめ直すきっかけを与えてくれました。自己愛によって結ばれた他者との関係を、神さまの愛に根差す関係へと上書きするよう促されたのです。

遅々とした歩みですが、今、御霊の導きと助けを得て神さまの愛に根ざした関係へと上書きされる日々を一新一進一退ですが歩んでいます。そういうわけで、JTJの愛する兄弟姉妹の皆さん、これからも御霊にあつて御国の旅路をご一緒させていただきますね!

「あなたがたに新しい掟を与える。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、